

令和6年度 土壤汚染対策基金事業報告書

基本方針

土壤汚染対策法に基づく指定支援法人として、「土壤汚染対策基金」の適正な運用に努めるとともに、同基金をもとに次の業務を実施した。

事業報告

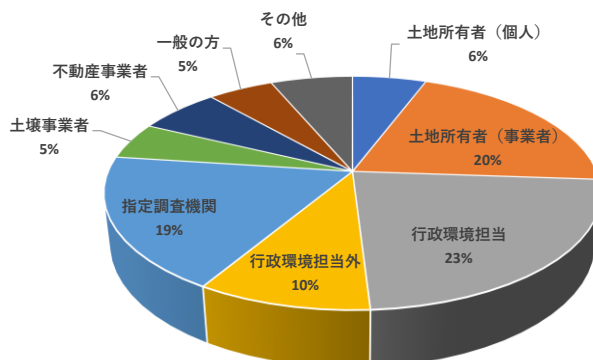
1. 助成金交付事業（経費 0千円）

助成相談の実施やセミナー、イベント等の普及啓発のあらゆる機会を捉え助成金交付事業の周知に努め、都道府県等に対するアンケート調査の実施により情報を収集したが、助成金交付の申請はなかった。

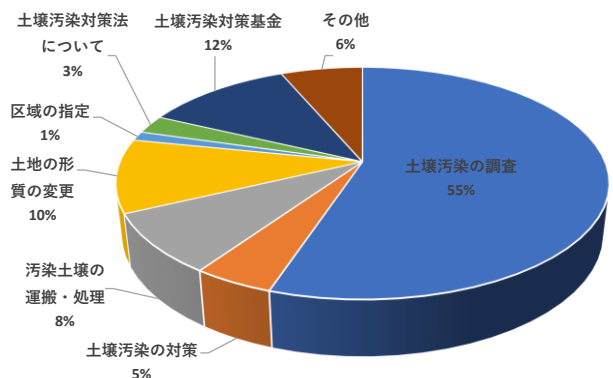
2. 照会・相談事業（経費 2,609千円）

土壤汚染状況調査、要措置区域内の土地における汚染の除去等の措置及び形質変更時要届出区域内の土地における形質変更等について、電話等による照会、相談への対応及び助言を行った。また、土地所有者等向けの相談については、過去の開催実績を考慮して土壤汚染に関する現地相談会を大阪市、セミナー併設相談会を松江市、展示会のブース来場者を主な対象として名古屋市において開催し、相談・助言の充実を図った。

令和6年度の相談件数は、157件であった。内訳は以下のグラフのとおり。助成金交付相談（助成金交付対象者からの申請手続き等に係る相談業務）は、電話による具体的な相談が18件（土壤汚染の調査・対策に関連した助成金交付相談も含む）あったが、すぐに申請に至る相談はなかった。



相談者の内訳



相談内容の内訳

3. 普及・啓発事業（経費 9,817 千円）

土壤汚染対策法の周知及び土壤環境に関するリスク対応の考え方、土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関する技術的事項等について広く普及啓発を図るため、以下の事業を実施した。

(1) 土壤汚染対策セミナーの開催

土壤汚染対策法において、はじめて届出をされる土地所有者、企業関係者が増えていることから、土壤汚染対策に関する基礎的知識の普及及び理解の増進のため、環境省及び当協会の主催による「土壤汚染対策セミナー」（現地開催形式）を開催（参加人数計 40 人）した。

また、土壤汚染対策を適切に進めるためには、実際に土壤汚染の調査や対策に係る事業者等が土壤汚染対策の専門技術的な知識を正しく把握していることが重要であるため、土壤汚染の調査・対策に従事する建設コンサルタント会社等に所属する実務者をターゲットに土壤汚染対策に関する浄化技術について「土壤汚染対策技術セミナー」（オンデマンド配信形式）及び現地開催形式セミナーのプログラム内容を中心とした「土壤汚染対策セミナー」（オンデマンド配信形式）を環境省及び当協会の主催により開催（参加人数計 1,653 人、動画視聴回数 5,785 回）した。セミナーのプログラムは巻末を参照。

(2) セミナー等への講師派遣

NPO が開催する土壤環境をテーマとするセミナーへの土壤環境の専門家の派遣（2 回、3 人）を行った。

No	日付	依頼者	開催地	講演タイトル
1	令和 6 年 9 月 27 日	NPO 土壤汚染対策コンソーシアム	大阪府	土壌・地下水汚染物質の健康影響に関する最近の話題とリスク評価の動向
2	令和 6 年 9 月 27 日	NPO 土壤汚染対策コンソーシアム	大阪府	土壌・地下水汚染対策における最近の話題（汚染の実態と対策に向けての課題）
3	令和 7 年 2 月 7 日	大和市	神奈川県	土壌汚染対策法の概要や土壌汚染の未然防止・対策のポイント

(3) パンフレットの増刷

展示会の出展ブースにおける来場者の増加に伴い、既存パンフレットの増刷作業を進めた。

(4) 展示会における普及啓発

「メンテナンス・レジリエンスTOKYO」（オンライン開催：令和6年7月1日～8月30日・現地開催：令和6年7月24日～26日・会場：東京ビッグサイト東ホール・総来場者数45,817人）、「土壌・地下水浄化技術展」（現地開催：令和6年9月18日～20日・会場：東京ビッグサイト東ホール・総来場者数約8,932人）、「モノづくりフェア」（現地開催：令和6年10月16日～18日・会場：マリンメッセ福岡・総来場者数24,789人）、「メッセナゴヤ」（オンライン開催：令和6年10月15日～11月29日・現地開催：令和6年10月30日～11月1日・会場：ポートメッセなごや（名古屋港金城ふ頭）・総来場者数52,742人）、「エコプロ」（現地開催：令和6年12月4日～6日・会場：東京ビッグサイト東ホール・総来場者数：63,303人）に出展し、展示ブース内において、土壌環境及び土壌汚染対策基金のパネルの展示及び土壌環境に関連する冊子等の配布、土壌汚染対策についてわかりやすく解説した映像資料を用いて一般の方への土壌環境への理解に努めた。また、会場では事業者及び広く一般から土壌環境保全に関する相談を受け付け、特に一般の方への土壌環境への関心と理解に努めた。

(5) ホームページの充実

ホームページの年度更新、土壌汚染対策に関する映像資料の更新のほか、新規コンテンツ「土壌汚染の基礎知識」を制作し、土壌汚染に限らず、土壌環境リスクを中心として全般について学ぶことができる一般向けのページを追加した。

(6) その他

新規コンテンツ「土壌汚染の基礎知識」の内容をまとめた現地展示会用のポスター及び土壌汚染の概要と基金事業の紹介を記載した紙製ホルダーを新規制作し、展示会において説明資料として活用した。

また、土壌汚染対策基金の一層の活用、助成案件の掘り起こしを目的に、都道府県を対象にアンケート調査を実施した。回答結果から個別にヒアリングを実施した。

4. 人件費（経費 11,463 千円）

上記の照会・相談事業及び普及啓発事業を円滑に実施するため、指定支援法人の職員が事務局業務を対応した。

令和6年度 セミナープログラム

(1) 土壌汚染対策セミナー ※現地開催

島根会場（松江市） 令和6年11月15日（金）

所要	内 容	講師
30 分	土壌汚染対策法の概要、施行状況と土壌環境行政の最新動向	環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室
20 分	島根県における土壌汚染対策の現状と取組み	島根県 環境生活部 環境政策課
50 分	土壌汚染対策法に基づく調査の概要と未然防止のポイント	ランドソリューション株式会社 森下 高吉氏
50 分	土壌汚染と不動産取引のポイント	株式会社東京カンテイ・G&W 環境 ソリューション 笹本 譲氏

(2) 土壌汚染対策技術セミナー ※オンデマンド配信

配信期間：令和6年11月21日（木）～令和7年2月21日（金）

所要	内 容	講師
60 分	テトラクロロエチレンの高濃度汚染サイトに対するバイオレメディエーションの適用と効果	株式会社エンバイオ・エンジニアリング 和知 剛氏
45 分	ベンゼンを対象とした原位置浄化技術～ドレーン工法を用いた LNAPL 除去を中心に～	鹿島建設株式会社 河合 達司氏

(3) 土壌汚染対策セミナー ※オンデマンド配信

配信期間：令和7年1月21日（火）～令和7年2月28日（金）

所要	内 容	講師
35 分	土壌汚染対策法の概要、施行状況と土壌環境行政の最新動向	環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室
50 分	土壌汚染のリスク（リスクの考え方と備え）	国立研究開発法人産業技術総合研究所・北海道大学工学部客員教授 保高 徹生氏
65 分	土壌汚染と不動産取引のポイント	株式会社東京カンテイ・G&W 環境 ソリューション 笹本 譲氏